



学校・家庭・地域をつなぐ

塩浜小 学校だより

令和3年1月28日

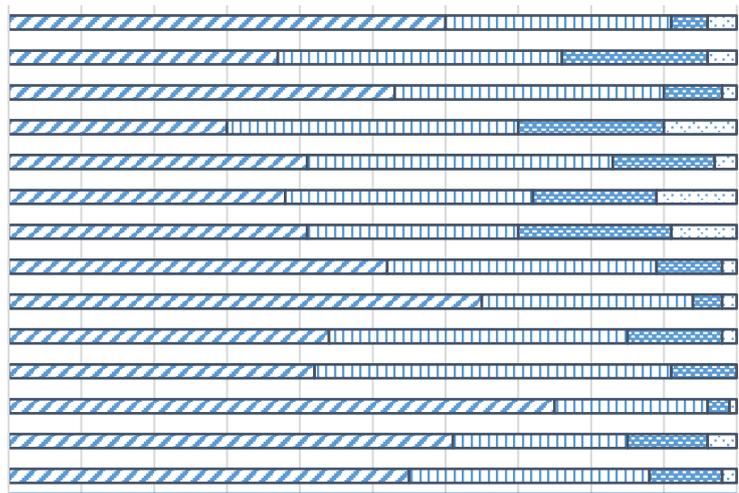
N o 26

令和3年度 学校アンケート集計結果 および 考察

学校アンケート（児童）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- ①学校は楽しい
- ②進んで挨拶をしている
- ③友達や先生の話をよく聞いている
- ④進んで発表している
- ⑤粘り強く勉強をしている
- ⑥家庭学習（10分×学年）をしている
- ⑦進んで読書をしている
- ⑧みんなと協力して活動している
- ⑨いじめや差別をせず友達を大切にしている
- ⑩友達や先生から大切にされている
- ⑪きまりを守りけじめある行動ができた
- ⑫健康や安全に気をつけて生活している
- ⑬進んで体を動かすことができた
- ⑭オンライン学習に集中して取り組めた

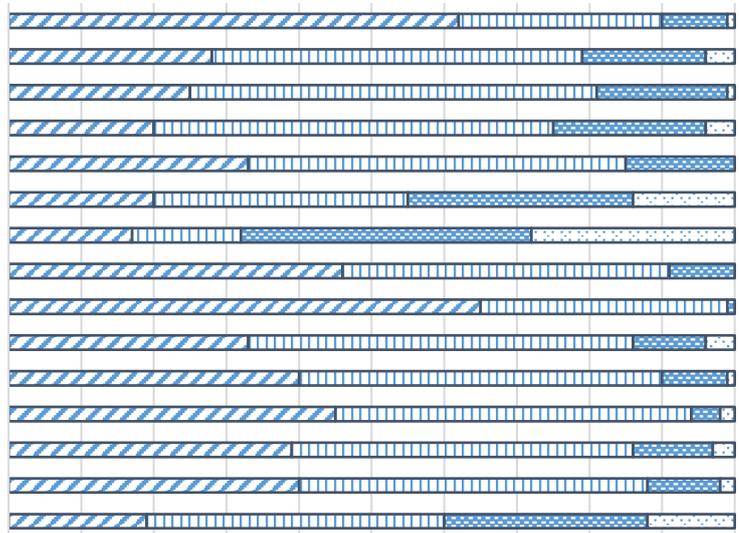


■ A ■ B ■ C ■ D

学校アンケート（保護者）

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

- ①楽しく学校生活を送っている
- ②挨拶をしている
- ③聞く力がついている
- ④伝える力がついている
- ⑤基礎学力がついている
- ⑥家庭学習（10分×学年）をしている
- ⑦進んで読書をしている
- ⑧なかまと協力する機会を大切にしている
- ⑨いじめや差別をせず友達を大切にしている
- ⑩ちがいを受け止め支援している
- ⑪きまりを守りけじめある行動をしている
- ⑫安全や健康について指導している
- ⑬家庭や地域と連携をはかり指導している
- ⑭子どもたちの様子を伝えている
- ⑮オンライン学習は、学びを保障している



■ A ■ B ■ C ■ D

2学期後半に行いました学校アンケートの結果について報告させていただきます。

A・B ⇒ 肯定的な回答

C・D ⇒ 否定的な回答

と判断して分析しています。

【結果から見えてきたこと】

- 多くの子どもたちや保護者が「学校は楽しい」「楽しく学校生活を送っている」と回答している。一方で、「あまり楽しくない」と感じている児童が18名いることもしっかりと受け止めていかなければならない。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、学校が急に休校になったり、オンライン学習になったり、多くの行事が中止または縮小されたりしたことによるものとも考えられる。これからも、いろいろな活動において制限されることがあると思われるが、子どもたちの安全を第一に考え、感染対策を講じながらも、なかまとの繋がりを大切にしたい学校行事や学習活動を工夫していく。また、家庭との情報交換を密にし、一人ひとりの児童を全職員で丁寧に見守っていくことを全職員で確認した。
- 本校の目指す子どもの姿となっている「あいさつ」について、児童は校内では元気よく挨拶をすることができる。しかし、登校時に、保護者や地域の方々に自分から挨拶することが難しい児童もいるようである。また、マスクを着用して登校しているため、あいさつの声が小さい児童については、言っているつもりでも相手に伝わっていないこともある。学校でも繰り返し声掛けを行うとともに、子どもたちが気持ちよく登校することができるよう、「早寝・早起き・朝ごはん」の取り組みを家庭と連携しながら進めていきたい。
- 子どもたちの中には、友達や先生の話「聞く」ことはできるが、自分の考えを「話す」「伝える」ことは苦手と感じている児童が多い。新学習指導要領でも「主体的・対話的で深い学び」を大切にしながら学習を進めていくことになっているが、コロナ禍の中、子どもたち同士で伝え合うためのペア学習やグループ学習、児童集会等の活動が制限され、話すことに慣れていないということも理由の一つと考えられる。日々の授業の中で、子どもたちにとって魅力的な課題を提示し、子どもたちが自ら考えたり話し合ったりしたくなるような授業を構築していくため授業改善に取り組む。
- 家庭学習については、【10分×学年】の時間を目安として子どもたちに指導しているが、「できている」または「だいたいできている」と回答した児童は72%、保護者は55%。家庭学習の時間や内容に課題が見られる。学校で学習したことを家庭で繰り返し復習することで基礎的な学習内容が定着する。また、時間に余裕がある時には、学校から出された課題のほかに、自分の強みをさらに伸ばすことや自分の弱みを補うことなどにもチャレンジできると、さらに学力が伸びると考えられる。来年度は、家庭訪問時に、「家庭学習の手引き」を保護者の方に直接渡し協力をお願いするとともに、家で学習に向かう時間を子どもたちに意識させる取り組みを考えていきたい。
- 毎年、課題として挙げられる読書活動については、「進んで読書をする」と肯定的な回答をする児童が5%(65%→70%)増加した。今年度、6名の方に図書ボランティアとして登録していただいた。月1回、図書館の環境整備をしていただいたり、図書室へ行きたくなるような掲示物を廊下に貼っていただいたり、休み時間に読み聞かせを行っていただいたりしている。また、図書委員会を中心に図書館まつりを密にならないように工夫して開催したり、中庭にベンチを置き子どもたちがいつでも本を読むことができるような環境を用意したりした。今年度から、四日市市では1人1台タブレットが整備され、授業でも家庭学習でもタブレットを使用するようになった。そのため、子どもたちが本に触れる時間が少なくなるのではないかと心配されたが、実際には興味を持った児童がわずかではあるが増え



ている。低学年では、週1回、図書室へ行き本を読む機会を設けたり、お勧めの本を紹介し合ったりしている。そのほかに、高学年の児童が、低学年の教室へ絵本を読みに行く活動も行っている。今後、子どもたちに興味のある本を図書館や学級文庫に計画的に購入したり、図書館司書によるブックトークをしたりしながら、子どもたちが本に親しむことができるよう環境を今まで以上に整えていきたい。

- 「いじめや差別をしない」については94%、「みんなで協力することができた」は89%の児童が肯定的な回答をしている。本校はほとんどの学年が単学級でクラス替えがなく、1年生から同じ仲間として共に成長してきている。これは、本校の強みでもある。また、縦割り班の活動を通して、「協力して活動することの楽しさ」を上級生から下級生へ伝えてくれている。ただ、今年度もコロナ禍であり、縦割り班活動も中止されることが多かった。来年度は、感染対策を行いながらも仲間とともに力を合わせて最後までやり切ったという経験をさせたり、道徳教育をさらに充実させたりするなどして、100%を目指して取り組んでいきたい。
- 「決まりを守り、けじめある行動」については、91%の児童ができたと回答し、昨年度よりもさらに上昇した。昨年度見直しをした「本校のきまり」について全職員で繰り返し指導したり、学期ごとに自分たちの生活を振り返らせる機会を設けたり、終業式には生徒指導担当者から、子どもたちの頑張った姿を具体的に紹介し認めたりするなどの取り組みを行った。また、委員会活動では、高学年の子どもたちが自ら考え行動しようとする意欲が持てるように支援を続けてきた。このように、いろいろな方面に働きかけたことで、子どもたちが自覚を持って行動することを意識し始めているのではないかと考えられる。引き続き、粘り強く指導を行っていきたい。
- 「健康や安全(交通安全)」については、肯定的な回答が昨年度より2ポイント上がって96%。これは、いつも登下校を見守っていただいている保護者や地域の皆様のご協力のおかげである。そのほか、発育測定時に行う保健指導や栄養教諭による食育指導によって、子どもたちの健康に対する関心が高まっていることも考えられる。また、新型コロナウイルス感染症に対する感染対策についても、学校と家庭で連携しながら進めてきた成果だと言える。これからも、家庭・地域の方々とともに協力して進めていきたい。
- 2学期初めのオンライン学習については、新型コロナウイルス感染症第5波の到来により、しっかりと準備ができていないまま始まってしまった。そのため、ICT機器の使い方や接続のしかたが分からなかったり、インターネットの回線に負荷がかかりすぎたりして不具合が生じることがあった。また、教員もzoomを使つての授業に慣れておらず戸惑うことも多かった。一方、児童は、はじめのうちは珍しさもあり授業に集中する子が多かったが、1日5時間のオンライン授業に飽きてきてしまう子もいた。教室で友達と一緒に活動したり、お互いの意見を聞き合ったりしながら学習する時間が大切だと改めて感じた。しかし、これからの新しい時代を担う子どもたちにとってICT機器の利用は避けては通れない。全児童がICT機器の使い方に慣れることができるように、タブレットを使った学習活動をいろいろな場面で取り入れていくとともに、児童が興味・関心を持って意欲的にタブレットを使った授業に臨むことができるよう、全職員で授業づくりについて研鑽を積んでいきたい。



お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

これからも、しおはまっ子が「笑顔で通える塩浜小学校」を目指し、全職員で取り組んでまいります。引き続き、ご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

もし

学校でコロナ陽性者が出たら・・・

新型コロナウイルスの感染者は増加の一途にあり、市内の小中学校においても、あちらこちらで陽性者が出ています。もし、子どもたちが学校にいる間に陽性者が出た場合は、多くの場合、以下のように対応することになります。

〈子どもたちが学校にいる時間帯〉

陽性判明
感染可能期間に登校あり



給食後 緊急下校
下校時刻
13:30～14:00 頃
になる見込み

学童を利用している児童は、
症状がなければ
通常の時間まで「学校待機」



(すぐメール例文)

「塩浜小学校に通学する児童の陽性が確認されました。そのため、全校児童13:30 頃に下校します。

下校後、ご家庭が留守となるなど13:30 下校が不都合の場合は、13:20 までに学校へ連絡をお願いします。」

メールに気づかず、お子さんが「帰宅しても家に入れなかった！」ということのを避けるため、「合鍵を持たせていない」「家で待つ人がいない」などの理由で通常の下校時刻まで学校待機を希望される方は、予め担任までお知らせください。

ただし校舎内消毒のためご希望に添えない場合もあります。
「緊急下校」が原則です。

〈お願い〉同居家族に、かぜ症状がある場合は…

同居のご家族に、発熱、鼻水、せき、くしゃみなどのかぜ症状がある場合や濃厚接触者の可能性がある場合は、新型コロナウイルスの感染を疑い、万一のことを考えてお子さんの登校を見合わせてください。感染症のまん延防止にご協力をお願いします。